

道の駅の価値向上の取り組み

道の駅 VE の取り組み

近年、道の駅には、さまざまな機能が期待されています。道の駅の計画を適切に進めるには、地域の方々が地域に求められる機能を吟味し、工夫しながら進めて行くことが重要です。

VEは、求められる機能を明確にし、必要な機能を果たすアイデアを発想する技術であり、国土交通省では、これまでも公共事業の価値向上にVEを活用してきました。

本取り組みでは、道の駅の計画にVEを活用することにより、道の駅の機能をより丁寧に検討し、道の駅の価値向上を目指しています。

道の駅の新規計画・リニューアルに、道の駅の機能を整理し、新たなアイデアを創造するツールとして、ぜひ、VEをご活用下さい。

VE (Value Engineering) とは？

VEとは、製品やサービスの「価値」を、それが果たすべき「機能」とそのためにかける「コスト」との関係で把握し、システム化された手順によって「価値」の向上をはかる手法です。

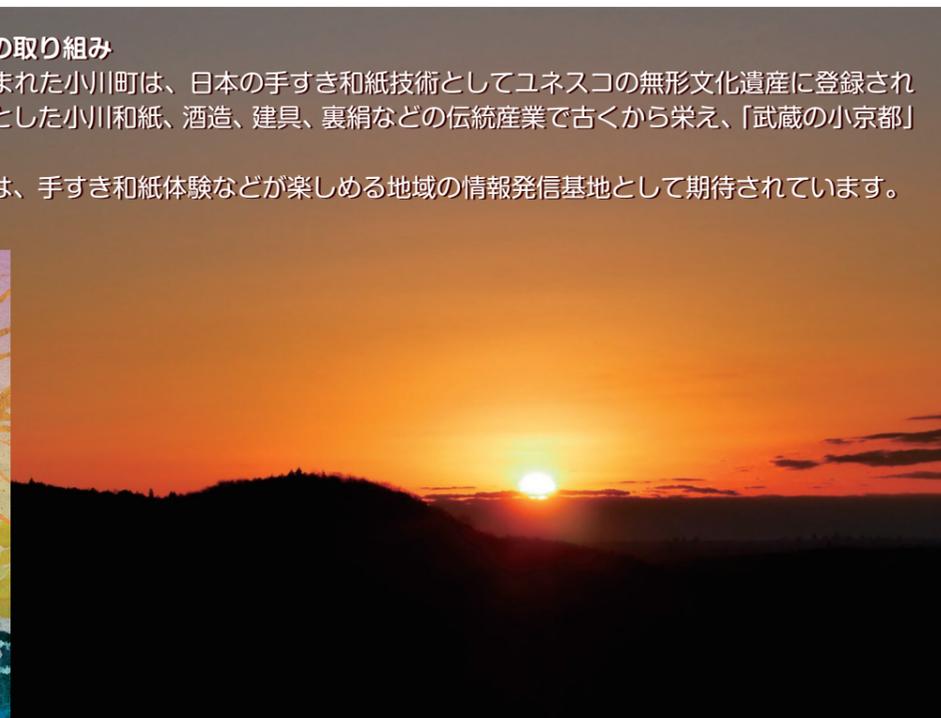
使用者優先、機能本位で考え、様々なアイデアを生かし現状を打破する。そのために英知を結集したチーム・デザインを行います。

そして、機能とコストの両面から製品やサービスの価値の向上を図っていく、それが、VEの考え方です。

道の駅「おがわまち」の取り組み

周囲を豊かな自然に囲まれた小川町は、日本の手すき和紙技術としてユネスコの無形文化遺産に登録されている細川紙をはじめとした小川和紙、酒造、建具、裏絹などの伝統産業で古くから栄え、「武蔵の小京都」と呼ばれています。

道の駅「おがわまち」は、手すき和紙体験などが楽しめる地域の情報発信基地として期待されています。



道の駅「おがわまち」におけるVEワークショップ

今回の取り組みでは、道の駅「おがわまち」を対象にVEワークショップを実施し、VEの手法である機能系統図を使って、この道の駅に求められる機能を整理しました。また、機能を元にアイデアを出しました。

情報収集

● 道の駅周辺の情報

地域の概要
地域の課題
地域の資源
関連施策

● 上位計画の情報

経緯
方針・目的
ターゲット

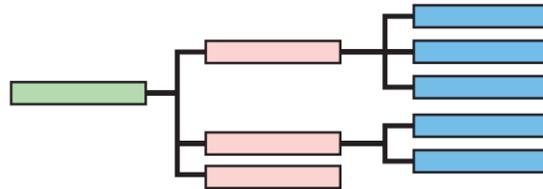
機能の定義

この道の駅に求められる「機能」を出します。
機能とは、道の駅が提供する「サービス」や「はたらき」です。
機能は、目的・方針・建築物の形状・イベント等から抽出します。「～を～する」。

機能の整理

目的と手段の関係で、道の駅に求められる「機能」を整理します。
これにより機能をいくつかのグループに分けて捉え、改善検討を進めやすくします。

目的 ↔ 手段



評価

「機能」について評価し、問題がある「機能」を選びます。
問題がある機能から改善アイデアを考えることにより、アイデアの方向性を揃えます。

アイデア発想

改善アイデアを検討します。
機能からアイデアを出すことにより、アイデアを出しやすくします。
批判厳禁・自由奔放に考え、評価は後で行います。



道の駅の機能を検討する際の司会進行役として、VE協会のVE有資格者（CVS）が協力した。

VEワークショップの結果

道の駅の計画において、VEの「機能の定義・機能の整理」を行い、機能系統図に整理することにより、地域の特性を踏まえた必要な機能が整理できました。

※機能系統図は裏面をご覧ください。

また、機能系統図を活用した「アイデア発想」により、実現性が高い新たなアイデアが提案されました。



ワークショップで検討したアイデアシート（一部抜粋）

機能分野：和紙の拠点を宣伝する		アイデア発想・概略評価		機能分野：情報を発信する		アイデア発想・概略評価		
NO.	アイデア	概略評価	NO.	アイデア	概略評価	NO.	アイデア	
1	影響がある人に届く	○	1	小川町駅受の切符が和紙	○	1	和紙の拠点	○
2	耳に残るリズムのキャッチフレーズ	○	2	電車のアナウンスを「和紙のふるさと小川町」に	○	2	近隣のお祭り案内	○
3	特徴あるキャッチコピーをつくる	○	3	駅名を「和紙のふるさと小川町」に	○	3	移住サポート物件紹介	○
4	金魚すくいのに使う	○	4	雑誌の付録に使う	○	4	移住した人のモデルの発信	○
5	小川和紙の丈夫さをアピール	○	5	広場の床を全部和紙にする	○	5	酒蔵見学受付	○
6	小川和紙で贈す	○	6	紙をすいている動画を配信	○	6	施設見学の予約	○
7	道の駅が目につくところに和紙	○	7	和紙でアニティグス作る	○	7	町内の食事どころ案内	○
8	紙をすいている動画を配信	○	8	キーホルダーを作る	○	8	和紙体験学習センターの案内	○
9	丈夫な和紙のアピール動画	○	9	職員は和紙の服	○	9	町の「花スポット」の案内	○
10	和紙サミット	○	10	名札が和紙	○	10	和紙の着物を記念撮影	○
11	ずいり紙	○	11	リーフレットが和紙	○	11	和紙の着物を記念撮影	○
12	折り紙(和紙)	○	12	職員の名前が和紙	○	12	和紙の着物を記念撮影	○
13	強制的に目につくところに和紙	○	13	自販機が和紙の柄	○	13	和紙の着物を記念撮影	○
14	東京の駅を借り切って宣伝する	○	14	全部和紙で統一(可能な限り)	○	14	和紙の着物を記念撮影	○
15	人目につくところで宣伝する	○	15	和紙で宣伝する	○	15	和紙でウキを作る	○
16	日本橋で宣伝する	○	16	和紙でウキを作る	○	16	和紙でウキを作る	○
17	小川和紙で何かをやってみよう	○	17	和紙でウキを作る	○	17	和紙でウキを作る	○

機能分野：情報を発信する		アイデア発想・概略評価			
NO.	アイデア	概略評価	NO.	アイデア	概略評価
1	情報提供コーナー	○	1	レンタルサイクルの基地	○
2	デジタルサイネージ	○	2	近隣のお祭り案内	○
3	画面に情報表示	○	3	移住サポート物件紹介	○
4	すべり台の紹介	○	4	移住した人のモデルの発信	○
5	酒蔵見学の受付	○	5	シンボルマークの作成	○
6	施設見学の予約	○	6	ミッキーのイメージ登録マーク	○
7	町内の食事どころ案内	○	7	和紙体験学習センターの案内	○
8	和紙体験学習センターの案内	○	8	町の「花スポット」の案内	○
9	町の「花スポット」の案内	○	9	和紙の着物を記念撮影	○
10	和紙の着物を記念撮影	○	10	和紙の着物を記念撮影	○
11	和紙の着物を記念撮影	○	11	和紙の着物を記念撮影	○
12	和紙の着物を記念撮影	○	12	和紙の着物を記念撮影	○
13	和紙の着物を記念撮影	○	13	和紙の着物を記念撮影	○
14	和紙の着物を記念撮影	○	14	和紙の着物を記念撮影	○
15	和紙の着物を記念撮影	○	15	和紙の着物を記念撮影	○
16	和紙の着物を記念撮影	○	16	和紙の着物を記念撮影	○
17	和紙の着物を記念撮影	○	17	和紙の着物を記念撮影	○

VEワークショップ参加者の意見

- このようなアプローチがあることを知らなかった。今回、VEの方法論を知ることができて良かった。
- 施設の在り方はこれまで議論してきたが、体系的に整理することによって目的が明確になった。
- 活発に意見をいただき、大変ありがたかった。今回得られた意見、アイデアを活用していきたい。
- 今回の系統図を使って、新しい見方ができると感じています。
- 通常は職員で検討しているが、職員だけではなかなか得られないアイデアや、不足している部分も確認できて、大変良い機会であった。
- 4時間という短い時間で集中して改善していく手法、大変勉強になりました。
- 自由に意見を出してからまとめていく手順が、印象に残りました。
- 逆に半日も議論が続くのかと思いながら参加したが、意見を出し合いながら、あっという間に終わった印象です。活発な意見交換ができて良かった。
- ファシリテーターの役割が大変重要と感じました。
- 様々な意見が出てまとめづらいのではないかと感じましたが、目的と手段の関係で整理することで進行もスムーズになるのですね。大変充実した会議でした。
- VEという手法があること、VEのステップも知っていましたが体験したのは初めてで、体験できてよかったです。
- 小川町に関わる方々の様々な考え方、姿勢を知ることができ、今後への可能性を感じました。